

先進的技術を活かした「次世代施設園芸モデル団地」の整備に関する提言

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

現在国で検討が進められている次世代施設園芸モデル団地の整備について、次のとおり提言します。

- 1 意欲ある地域が参加できるよう、地域の実情に応じた規模でも支援対象にすること。
- 2 整備にあたっては、手厚い支援策を講じること。また、大規模な事業となることから、複数年事業も可能とすること。
- 3 オランダからの技術支援体制の構築や、試験研究、生産現場への普及などのソフト支援もあわせて行うこと。

【政策提言の理由】

農業が自立した「成長産業」となるためには、生産性の向上や経営規模の拡大などの取組を加速化させることは重要です。そのためには、現在、国において検討が進められている次世代施設園芸モデル団地の整備は必要と考えています。

- 1 地理的・社会的制約から、大規模な農地の集積が困難な地域も多くあります。
このため、次世代施設園芸モデル団地整備の制度設計にあたっては、意欲のある地域が参加できるよう、団地の規模要件について、地域の実情に応じた規模でも支援対象としていただくよう提言します。
- 2 先進的な技術を取り入れた施設園芸団地の整備を行う場合、大規模な高軒高ハウスの整備や環境制御技術の導入にかかる経費が多額となり、事業実施主体の負担が大きくなります。
また、多くの生産者は大規模園芸施設での営農経験がないことから、リスクの大きい規模拡大には経営面での不安が生じることも考えられます。
このため、施設園芸モデル団地の整備において、より多くの法人等が参加できるよう、補助率を手厚くするなどの支援策を講じていただくとともに、複数年での事業実施も可能としていただくよう提言します。
- 3 また、オランダとは気候条件や品種等が異なるため、地域に合った技術確立が必要であることから、オランダからの技術支援体制の構築とともに、試験研究や生産現場への普及などソフト支援も併せて行っていただくよう提言します。